

森林官の一日

上越森林管理署 妙高森林事務所 森林官 黒崎正信

当森林事務所は新潟県妙高市にあり、11,500haの国有林を管理経営しています。部内には、妙高山、火打山、高妻山と、日本百名山が3山もあり、全国各地から多くの登山者が訪れています。私も火打山から妙高山にかけて登山したことがありますが、妙高山頂に着いた頃には、眼下に雲海が広がり、素晴らしい景



夢見平のミズバショウ

色に感動しました。また、当地は、全国的にも有名なスノーエリアで、国有林を活用したスキー場も、妙高赤倉スキーエリアを中心に6箇所あります。冬季間には140万人以上の方が訪れていますが、年々スキー客が減少し、ピーク時の平成3年と比べると約1/3まで落ち込んでいます。

このような中で、森林への理解を深めていただくとともに、グリーンシーズンの観光へ寄与するため、地元とともに実施している、「妙高高原笹ヶ峰トレイルランニング」と「妙高笹ヶ峰癒しの森」の取組について紹介します。

「トレイルランニング」は、標高1,300mに位置する笹ヶ峰高原のトレイル(森の小道)でのランニングを通じ、森林の普及啓発と準高地トレイルランニングとしての適地のPRのため、妙高市等とともに、平成11年から毎年開催しているランニング大会です。年々参加者が増え、昨年の第8回大会では520名もの参加がありました。それに伴

い知名度が上がるとともに、地元杉野沢観光協会の積極的なコース整備やPR活動もあり、数多くの実業団、大学等が合宿で訪れるようになっていきます。

また、「癒しの森」は、笹ヶ峰ダム対岸の夢見平地区を森林の持つ癒しにふれあうことができるところのために、市、地元自然保護団体等の皆様と情報・意見交換をしながら、整備を進めているものです。夢でも見ているのかと思うほどの美しい景色から名づけられた夢見平湿原、ブナ等の大木等があり、「夢見平遊歩道を守る会」の皆様が、かつての簡易製材所跡へ続く軌道跡を遊歩道として整備されてきました。首都圏から訪れる方もいる、知る人ぞ知るところ



妙高高原笹ヶ峰トレイルランニング



夢見平遊歩道整備に係る測量

ておきの自然探勝の場となっているこの地区を、当署では、癒しの森として、更に整備を進めています。また、市でも、観光への寄与も考慮し、森林セラピーロードとして認定を受けようとしています。

さて、当地に赴任した最初の冬には、雪の多さに驚き感動して、何度も写真を撮った覚えがあります。しかし、次の冬(昨冬)には記録的な豪雪で屋根の雪下ろしを5回も行い、豪雪地帯での苦労も実感しました。住んでみて聞いてみて初めて分かることも多いと実感しており、仕事でも、地域の実情を十分踏まえた対応ができるよう、これからも地元との繋がりを大事にしていこうと思っています。